

PAT-NO: JP362211213A
DOCUMENT- JP 62211213 A
IDENTIFIER:
TITLE: HOUSING DEVICE FOR KNJAK JELLY TO SMOTHERING
CONVEYOR TRAY

PUBN-DATE: September 17, 1987

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ASANO, CHIKU	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
ASANO CHIKU	N/A

APPL-NO: JP60148647

APPL-DATE: July 6, 1985

INT-CL (IPC): B65 G 047/14

US-CL-CURRENT: 198/418.6

ABSTRACT:

PURPOSE: To dispense with any man power as well as to aim at improvements in efficiency and sanitary conditions, besides uniformalization in a product, by constituting a device so as to extrude konjak jelly onto a tray in a state of being placed on a guide plate, pinching its side part, and to release the pinch after retracting the guide plate.

CONSTITUTION: Konjak jelly 4 just before being smothered is fed onto a guide plate 2 at regular intervals. And, this guide plate 2 is advanced forward onto a tray 1 with an air cylinder 6, which an extruding arm 3 is advanced forward by another air cylinder 7, extruding the konjak jelly 4 out, and the konjak jelly 4 is held between a pinch plate 8 and the extruding arm 3. Next, after the guide plate 2 is retracted, the extruding arm 3 is retracted,

releasing the pinch of the konjak jelly 4, then it is dropped in the tray 1. With this constitution, man power is no longer required and, what is more, improvements in efficiency and sanitary conditions and uniformalization in quality are all well promoted.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 昭62-211213

⑪ Int.Cl.

B 65 G 47/14

識別記号

庁内整理番号

A-7820-3F

⑬ 公開 昭和62年(1987)9月17日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 蒸煮コンベアトレーへのこんにゃくの収容装置

⑮ 特 願 昭60-148647

⑯ 出 願 昭60(1985)7月6日

⑰ 発 明 者 浅 野 築 岡山県都窪郡山手村大字西郡798

⑱ 出 願 人 浅 野 築 岡山県都窪郡山手村大字西郡798

明 細 書

1. 発明の名称

蒸煮コンベアトレーへのこんにゃくの収容装置

2. 特許請求の範囲

コンベア上に設けられたこんにゃく収容トレー

(1)の上部へ進退するべくガイド板(2)を設け、該ガイド板(2)にはほぼ平行に進退するこんにゃく押アーム(3)を設け、該押アームの進出方向前方へトレー(1)とは独立して挟持プレート(8)を設け、前記ガイド板(2)の先端がトレー(1)上にあるとき、そのガイド板上のこんにゃく(4)を前記押アーム(3)と挟持プレート(8)間で押圧状態とし、こんにゃくが押圧状態のとき前記ガイド板(2)を後退させた後、こんにゃくをトレー(1)内へ落下させることを特徴とする蒸煮コンベアトレーへのこんにゃくの収容装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はこんにゃくの自動製造時における、コンベア上に多数設けられたトレー中へ製造過程の

こんにゃくを移して収容するための装置であって、特にトレーが常に移動する構造の蒸煮装置前方へ設けて有用なものに関する。

〔従来の技術〕

塊状に成形された蒸煮前のこんにゃくは、コンベア上に規則的に設けられたトレーに移して蒸煮釜内を通過させる。この時、トレーは製品のこんにゃく形状を形成することとなる。そのために弾性を有し、しかもトレー内容積よりも大きめの蒸煮前こんにゃくをトレー内へうまく収容する必要がある。このような作業は、従来は機械では無理で人手に頼らざるを得なかった。

〔本考案が解決しようとする問題点〕

こんにゃくを所定のトレー内へ収容するには、トレーがこんにゃくよりもはるかに大きい場合は何ら問題が無い。ところが所定の形状にするためにトレーがこんにゃくとほぼ同程度であったり、やや小さいと、こんにゃくにゃして不定形状に近しいこんにゃくは一方がトレーからはみ出したり、中央が凹んだ状態となったり、しわが寄った状態に

なるなどの難点があり、特にトレーが常に移動する構造の蒸煮装置においては機械での収容は無理であると思なされていた。そこで、従来は他の部分が機械化されたにもかかわらず、熟練した人が修正しながらトレーへの収容作業をしなければならなかった。本考案はこの点を解決すべく検討した結果、ここに完成をみたのである。

〔解決手段〕

そこで本発明においては、こんにゃく収容トレー(1)の上部へ進退するガイド板(2)を設けて、そのガイド板(2)上をこんにゃくがトレー(1)方向へ移動することとし、更にガイド板(2)上に平行に進退する押アーム(3)を設け、その前方へ押アーム(3)との間でこんにゃくを押圧保持する挟持プレート(8)を設けた構造としたのである。

〔作 用〕

このような構造であると、トレー上に進んだガイド板(2)の上に運びかれた蒸煮前こんにゃくを押アーム(3)がトレー(1)上で挟持プレート(8)との間で押圧した圧縮状態でガイド板(2)をトレー(1)上から

上部へ前進後退することができる。製品がガイド板(2)上で滑り易い場合には、ガイド板前方へ第2図中で示したように一次的にこんにゃくの前進を止めることのできる邪魔板(9)を設置すると効果的である。ガイド板(2)の上部にはこんにゃくを押圧する押アーム(3)が設けられている。押アーム(3)もこのシリンダ(7)等によってガイド板(2)上を進退する。そして、押アーム(3)の進出方向前方もこんにゃくを押圧保持できる間隔をおいて挟持プレート(8)がトレーとは独立して装置本体から設けられている。

このような装置であると、ガイド板(2)の先端がトレー(1)上へ進み、こんにゃくがガイド板(2)上に送られてきて、押アーム(3)によって更に挟持プレート(8)へ押圧されこんにゃくは圧縮保持状態となる。この状態でガイド板(2)が後退してトレー上から去り、移動しているトレー(1)がこんにゃくの直下に来たとき、押アーム(3)の押圧状態が解除されて自然落下するか、あるいはこんにゃくを上から押圧して、第2図中Pで示したように下方へ

後退させ、その後こんにゃくを上部から突いて、又は自重により落下させると、伸びながらトレー(1)内へうまく収容される。

〔実施例〕

第1図は本発明の実施例を示す一部破断側面図である。コンベア(6)上には多数のトレー(1)が並設されている。このコンベア(6)は図示しない右方において蒸煮釜内へ入っており、トレー(1)内のこんにゃくを順次蒸煮して製品とする。トレー(1)はその為の商品形状が決まるので重要である。また、収容されたこんにゃくにしわがあったり、いびつになっていると製品は不良品となる。そこで、こんにゃくをトレー(1)内へ収容する作業が前述のように重要となるのである。

本発明の収容装置の前工程には、第1図中図示しない左方において、こんにゃく原料を所定の重量の塊状とするための装置が設けられている。塊状の蒸煮前こんにゃく(4)は定期的にガイド板(2)上へ送られてくる。ガイド板(2)はエアーシリンダ等の進退手段(9)によって、巡回してくるトレー(1)の

の力(P)が作用すると、伸びながらこんにゃくはしわのない正常な状態でトレー(1)内へ収容される。

〔効 果〕

本発明の装置によると、トレーがたえず移動している装置に限らず、定期的に停止する装置でもこんにゃくのトレーへの収容が人手によらないで可能となり、能率の向上、製品の均一化、衛生向上に役立つ、かつ、製品のコスト低下が可能となる効果が得られる。

4. 図面の簡単な説明

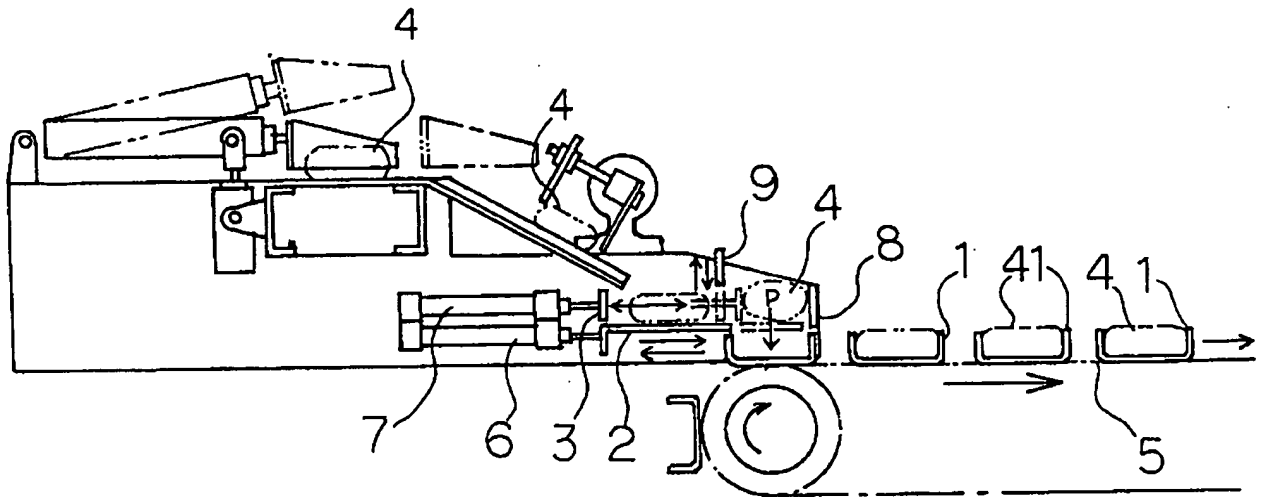
第1図は一部破断側面図で、第2図は要部斜視図である。

- (1)…トレー (2)…ガイド板 (3)…押アーム
(4)…こんにゃく (5)…コンベア (6)…進退手段
(7)…シリンダ (8)…挟持プレート (9)…邪魔板

以 上

特許出願人 浅 野 策

第 1 図



第 2 図

